4 救急業務

東京消防庁では、高度な救急サービスを提供するために、全ての救急隊に救急救命士を配置し、適切な応急処置と迅速な病院への搬送に努めています。

平成 28 年中の救急活動の現況と平成 28 年 6 月に発足した救急機動部隊を紹介します。

4－1 救急活動の現況

平成 28 年中の東京消防庁救急隊の出場件数は 777,382 件で、前年に比べ 15,580 件（2.3%）、搬送人員は 691,423 人で、前年に比べ 18,278 人（2.7%）増加し、それぞれ過去最高を記録しました。今後も高齢化の進展等に伴い、救急需要の増加が見込まれます。

東京消防庁では、都民及び東京を訪れる全ての方々の安全・安心を確保するため、いち早く傷病者がそれぞれの症状に応じた適切な医療の管理下に置かれるよう、最善を尽くしています。

写真 24　室内における救急活動

写真 25　交通事故現場における救急活動

写真 26　ストレッチャーにより傷病者を搬送

写真 27　多数傷病者のトリアージを実施（訓練）

4−2 救急機動部隊

救急機動部隊は、時間帯等によって変化する救急需要に合わせて救急隊を機動的に運用し、救急隊の現場時間短縮を図ることを目的として、平成 28 年 6 月 17 日に発隊しました。

救急需要の多い東京駅周辺及び新宿駅、歌舞伎町周辺を基点とし、29 名の部隊員が本部機動第 1 救急小隊（感染症対応特殊救急車）及び本部機動第 2 救急小隊（高規格救急車）にて活動しています。

また、この機動部隊の特徴として、感染症や多数傷病者の発生した事案、NBC 災害などの特殊災害にも対応することができます。

写真 28　東京駅警戒中の本部機動第１救急小隊

写真 29　現場へ急行する本部機動第２救急小隊

写真 30　東京駅の駅員と連携を図る部隊員（訓練）

写真 31　NBC 災害訓練に対応する部隊員

第 2 表　出場状況（平成 28 年 6 月 17 日から平成 29 年 3 月 16 日まで）

隊　名	全出場状況		東京駅への出場状況		新宿駅への出場状況		歌舞伎町への出場状況		西新宿への出場状況	
	出場件数	平均現着時間	出場件数	平均現着時間	出場件数	平均現着時間	出場件数	平均現着時間	出場件数	平均現着時間
本部機動第 1 救急	2,037 件	4.9 分	251 件	2.8 分	82 件	4.1 分	179 件	4.6 分	231 件	3.5 分
本部機動第 2 救急	2,145 件	5.2 分	185 件	2.9 分	129 件	4.3 分	199 件	4.8 分	352 件	3.8 分
合　計（平均）	4,182 件	5.0 分	436 件	2.8 分	211 件	4.2 分	378 件	4.7 分	583 件	3.7 分